



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

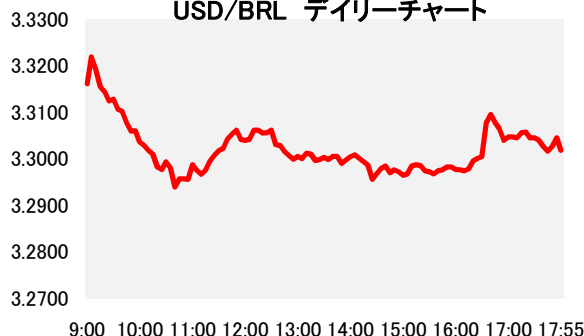
			6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3140	3.2800	3.3030	3.3080	3.3020	-0.0060
	BRL/JPY	Spot	33.90	34.24	33.94	33.97	34.36	+0.39
	EUR/USD	Spot	1.1337	1.1379	1.1441	1.1426	1.1364	-0.0062
	USD/JPY	Spot	112.33	112.29	112.11	112.39	113.44	+1.05
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.986	8.968	8.972	8.916	8.821	-0.095
	Future	1Year(p.a.)	8.840	8.830	8.831	8.764	8.655	-0.109
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.289	2.223	2.162	2.215	2.252	+0.037
	USD	1Year(p.a.)	2.427	2.355	2.285	2.348	2.396	+0.048
株式	Bovespa指数		61675	62018	62239	62900	63280	380
CDS	CDS Brazil 5y		240.73	238.95	242.30	242.29	241.42	-0.87
商品	CRB指数		170.013	170.975	171.886	174.776	176.156	+1.38

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	-0.30%	-0.32%	-0.12%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	50.5	52.0
CNI設備稼働率(季調済)	--	77.4%	76.6%
総輸入	\$12900m	\$12593m	\$12131m
総輸出	\$19900m	\$19788m	\$19792m
貿易収支(月次)	\$7000m	\$7195m	\$7661m

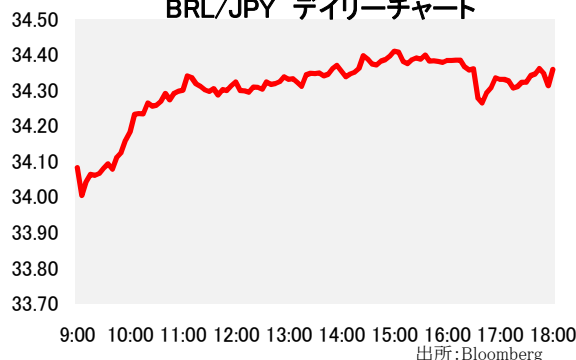
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

なし

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは3.3100で寄り付いた後、直ぐさま本日の安値となる3.3230を付けた。しかし元大統領特別補佐官のロウレス氏が釈放される等の報道により、政治面で安定が見られたことからレアルは反発、日中高値となる3.2940まで回復した。米ISM製造業景況指数が予想を上回ったことでドルが大きく買われるとレアルは一時的に反落したが、その後も底堅い動きが継続。結局3.3020でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.39%に据え置かれ、2018年は2.10%から2.00%へ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.48%から3.46%へ、2018年は4.30%から4.25%へそれぞれ下方修正。為替レートは2017年末が3.32から3.35にレアル安方向へ修正され、2018年末は3.40で据え置かれた。
- WTI原油先物は8営業日続伸、年初来で最長の連続高となった。先週発表された米国の石油掘削リグ稼働数が過去最高水準から減少したことが引き続き材料視された。
- ブラジルのペトロプラス石油会社がガソリン価格の下方修正を発表。インフレ率が低下するとの見方が強まり、先物金利は下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。